

ISSN 0910-9293

宮城県保健環境センター年報

平成3年度

ANNUAL REPORT
OF
MIYAGI PREFECTURAL INSTITUTE OF PUBLIC HEALTH AND ENVIRONMENT

No.10 1992

宮城県保健環境センター

はじめに

この度、宮城県保健環境センターの平成3年度における業績をとりまとめここに年報として発刊する運びになりました。

ご高覧のうえ、ご意見、ご批判を賜れば幸いです。

平成3年度は、総合衛生センター、衛生研究所、公害技術センターを統合し保健環境センターが発足して10年目に当たり、この年報も第10号という節目を迎えております。保健環境センターの歩んだこの10年間は、平時にあつて他に例を見ない激しい変化の時代でした。我々の周囲を見ても、例えば、公害の規制を目的として出発した公害行政は、今や地球規模の環境破壊問題を無視して語ることはできません。また、法定伝染病などに代表される感染症に加えエイズ問題が大きな話題になっております。このように我々が対応して行かなければならない問題は、社会情勢に応じて今後とも変化することが予想され、対処にあたってはより柔軟な姿勢が求められるものと思われまます。

このような時代の行政需要に応じ関係各位の期待に添うべく全所員一丸となり業務を遂行する所存ですので、より一層のご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

平成4年12月

宮城県保健環境センター

所長 佐々木 智 司

目 次

A 事業概要

I 総 説

1. 沿 革	1
2. 機構及び業務分担	1
3. 職 員	2
4. 予算及び決算	3
5. 主要機械器具	3

II 概 況

1. 情報管理部の概況	7
2. 微生物部の概況	11
3. 理化学部の概況	18
4. 環境衛生部の概況	25
5. 大気部の概況	28
6. 水質部の概況	32

B 調査研究

I 論 文

1. 市民アンケートに基づく快適環境指標の作成	37
鍵谷 真男、中村 栄一、高橋 富基、米山 達彦	
2. 平成3年度日本脳炎疫学調査	41
～宮城県におけるコガタアカイエカの発生消長・ と殺豚H I 抗体の動向および住民の中和抗体保有状況～	
植木 洋、玉手 美幸、秋山 和夫、山本 仁	
3. 青葉山におけるツツガムシの生息調査	46
植木 洋、秋山 和夫、山本 仁、玉手 美幸 菅野 信一	
4. FPD-GLCによる食品中有機スズ化合物の分析法（第2報）	49
佐藤 郁子、鈴木 滋、石川 潔、高槻 圭悟 菊池 格	
5. 食品中有機リン系農薬とその分解生成物の分析法について	53
石川 潔、白取 博志、佐藤 郁子、高槻 圭悟 菊池 格	
6. 高速液体クロマトグラフィーによる食品中のグリチルリチン、サッカリンの分析法の検討	57
小林 孜、菊池 格	

7.	浸出水の水質の経年変化からみた最終処分場の安定化	60
	大槻 良子、阿部 時男、白地 良一	
8.	エムポアディスクによる水道水源の農薬の分析法	64
	阿部 時男、白地 良一	
9.	浄水処理工程におけるトリハロメタン生成特性	66
	高橋紀世子、木戸 一博、大槻 良子、白地 良一	
10.	酸性雨自動測定結果について(第4報)	73
	～降水中のpH-ECPの経時変化～	
	百川 和子、加賀谷秀樹、宮崎栄一郎	
11.	宮城県におけるメタン濃度の変動について	82
	加賀谷秀樹、百川 和子、高橋 誠幸、宮崎栄一郎	
12.	簡易偏光装置によるアスベスト計数について	87
	佐藤 博明、庄司 幸雄、鈴木 壽雄、斎藤 善則 宮崎栄一郎	
13.	低級脂肪酸等悪臭物質の実体調査について	92
	榎野 光永、佐々木俊行、新垣 康秀、宮崎栄一郎	
14.	白石川における冬期の高pH出現の原因調査について	96
	富塚 和衛、佐々木久雄、大場 修、濱名 徹 氏家 顕	
15.	野積み畜産廃棄物の降雨による流出について	106
	佐々木久雄、大場 修、大庭 和彦、八木 純	
II 資 料		
1.	神経芽細胞腫マス・スクリーニング	110
	加茂えり子、白石 廣行、山本 仁、伊藤 友美	
2.	1991年・感染症サーベイランス事業	113
	～病原体検出情報～	
	微生物部	
3.	新生児マス・スクリーニング	115
	白石 廣行、荒井 富雄、近野寿美枝、伊藤 友美	
4.	医薬品の検査結果(平成3年度)	117
	清野 陽子、白取 博志、菊池 格	
5.	オンカラム注入法による揮発性有機塩素化合物の分析法	119
	氏家 愛子、氏家 顕	

C そ の 他

I 発表論文抄録

1. Gas chromatographic-mass spectrometric determination of oxolinicacid in fish
using selected ion monitoring 121

Keigo Takatsuki, Tadashi Kikuti

- II 学 会 発 表 122
III 研 究 発 表 会 123
IV 談 話 会 125
年報執筆要領 126